

作品紹介

「森の陰翳の満ち欠け (太陽の光の形, 月の光の形)」 for パラミタガーデン

池田 晶一

日本福祉大学 健康科学部

Delicate transition of the light and shade in the forest  
The sunlight form, The moonlight form for Paramita Garden

Shoichi Ikeda

Faculty of Health Sciences, Nihon Fukushi University

Keywords: 環境芸術, セラミック



「森の陰翳の満ち欠け (太陽の光の形, 月の光の形)」

## 1. パラミタガーデンについて

作品「森の陰翳の満ち欠け（太陽の光の形，月の光の形）」は，パラミタミュージアムの敷地内のパラミタガーデンの為に制作したものである。

パラミタミュージアムは三重県菟野に2003年3月開館された。ガーデンは4000平方メートルあり，元にあった雑木林を生かして整備されたものである。その敷地には多様な樹木や植物が息する森があり，そこに回遊路が設置され散策できるガーデンとして整備されている。ガーデン内には，オーナーの選定されたアート作品が展示されている。

また，パラミタミュージアムのパラミタは，この美術館のメインコレクションである池田満寿夫氏の作品「般若心経シリーズ」から，梵語の「はらみた・波羅蜜多＝迷いの世界である 現実世界の此岸から，悟りの境地である涅槃の彼岸に至ること」を由来としている。

## 2. 作品の制作経緯

本作品は2010年に，パラミタミュージアムの依頼により，パラミタガーデンの為にデザインし，制作したものである。

私の作品のテーマは，作品が人やその周辺の環境と溶け込み，一体となってその場を構成するという物で，このガーデンの環境と求められる意図に合致しているように感じた。もともとガーデンには造り置きのスチール製のテーブルとイスが設置されていたが，それに変わる物として，座ることの出来る作品の提案を求められた。テーブルとしての機能もそこで話題にはなったが，ガーデン内で飲食等をする訳ではないということで，手荷物等を脇に置ける様に座面の大きなスツール作品をイメージすることになった。

## 3. 作品について

作品は，パラミタガーデンの中で木々や草花と一緒に風景の一部として存在する。しかしそこにいる人が，ガーデンを散策し，ちょっと腰を掛けなくなった時，作品は心地よく座る事を提供する。その時そこにいる人は，作品と一緒にパラミタガーデンの風景の一部となるのだ。気持ちいい空気と，心地よい木々の木漏れ日と共に，パラミタガーデンの空気との一体感を創ることを作品のテーマとした。

また，この作品は，パラミタガーデンの木々の隙間か

ら落ちる光の印象から，太陽と月の光をテーマとした。絶えず変化する光の移ろいを形に表したいと考えた。作品は見る角度によって，その表情を様々に変化させる。空気や光が移ろう様に……。

私は普段から，作品を通して場を見る事で，新たな印象を作りたいと考えている。作品に腰掛けて，ガーデンの木々や草花，そこに棲む小鳥達の鳴き声，心地よい風と光を，作品と共に感じられる事を意図し，プランの作成に挑んだ。

## 4. 作品のプラン

作品は，2種類の形状で構成する。楕円型は「太陽」を，矩形型は「月」をイメージしたものである。

それぞれの形状は，作品を設置する角度により，陰翳の変化がより現れるように表面に波形の形状をずらし構成した。矩形型の「月」は設置する角度によって，より陰翳の変化が大きくなり，月の満ち欠けの様な変化をその上にもたらす。

(画像1・2)はC.G.で作成したイメージプランである。

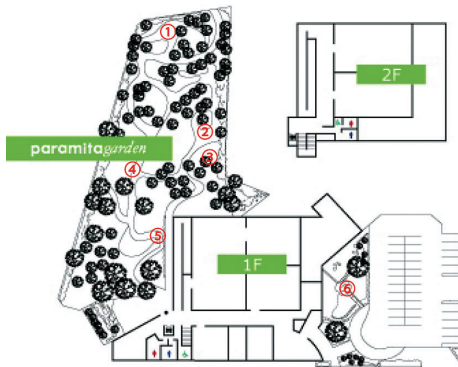


(画像1) プラン「太陽」のイメージ



(画像2) プラン「月」のイメージ

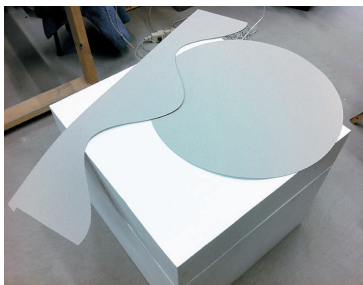
作品は、(図1)の様に6カ所に配置し、合計25個を設置した。設置場所は散策路のポイントとなる場所、即ち、通路が少し広がっている、もしくは周りを見渡し幾らかの時間が過ごせる場所をセレクトした。



(図1) パラミタガーデンの作品配置図

## 5. 作品の制作

作品は最初、発泡スチロールの原形制作から始まる。原形制作の後、石膏型を作成し、型に粘土を張り込んで成形して行く。(画像3~5)は、発泡スチロールをニクロム線で切断し、原形を作成しているところである。



(画像3) 原形制作



(画像4) 原形制作



(画像5) 原形制作

原形作成の後、それを基に石膏型を取り、(画像6)の様に、粘土に置換えて行く。



(画像6)

この工程の後、乾燥 素焼き 釉掛け 本焼成と、工程が進む。

尚、石膏型以降の制作は、陶器屋(滋賀県信楽)に依頼し行った。

## 6. 作品データ

作品設置場所:「パラミタミュージアム」パラミタガーデン

所在地:三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町 21-6

作品サイズ/数量:楕円型 約 590×430×500mm/14個

矩形型 約 540×300×500mm/11個

制作年月:2011年8月

素材:信楽陶土

釉薬:楕円型 白マット(若干クリーム色)

矩形型 白マット(若干水色)

窯元:陶器屋 滋賀県甲賀市信楽町神山 1500

## 7. おわりに

パラミタガーデンの作品制作では、私が作品で実現したい世界、作品と環境と人が一体になり、場を構成すると言う事を実現することができた。

私にとって作品とは、人に機能し作用するものでなくてはならない。この作品は、実際に人が触れ腰掛け機能する事と、パラミタガーデンの中で、作品が風景の一部として作用する事を実際にも実現し、貴重な体験を得ることが出来た。

作品のサイズは、ふっと腰掛けたくなる大きさに設定してある。何度かこの場所に赴き、散策している人を観察していると、自然に作品に腰掛けてくれていた。私の意図が、具体的にその場にいる人に作用している結果であった。貴重な機会を頂いたミュージアムの方や、制作で協力して頂いた方々に、この場を借りて心から感謝の意を申し上げる。



「月の光の形」 - 1



「月の光の形」 - 2



「太陽の光の形」



「月の光の形」



「太陽の光の形」 - 1



「太陽の光の形」 - 2



「太陽の光の形」



「太陽の光の形」